

今日から使える親面接の基本

本人を直接の支援の対象とし難いひきこもり問題では、支援の足がかりを親（家族）の支援におく必要があります。

しかし、親からの話だけでは本人のイメージや状況を掴みかねて、助言を求められても答えに窮してしまうといったことはありませんか？もちろん、本人を連れて来ない、また連れてくることのできないことを問題として親に迫ることも可能ではあるでしょうが、それだけでは新たな傷つきを親に与えるだけに終わってしまうことにもなりかねません。

親は大抵の場合、本人についての多くの情報を持ち、最も身近に在って、互いに多大な影響を与えています。言葉にするほど簡単でないのですが、親との間で治療関係を築くことができれば、家族が望む方向へと変化を遂げていくのを援助することは可能なのです。

よりよい関係づくり、情報収集、助言・課題の提示のしかた等アプローチの基本についてお話しいただきます。奮ってご参加ください。

講師：広島ファミリールーム 所長（臨床心理士）村上雅彦 氏

日時：平成20年9月2日（火）13：30～15：30（受付13：00～）

会場：北九州市総合保健福祉センター 2階・講堂

（北九州市小倉北区馬借1丁目7-1）

対象：ひきこもりの問題に関わる支援者

行政機関職員、医療関係者、教育関係者、民間支援団体等

申込方法：

人数把握のため、裏面の参加申込書にご記入のうえ、平成20年8月29日（金）までにFAX、郵送等でお申込ください。

※総合保健福祉センター（アシスト21）に駐車場はありません。公共交通機関をご利用のうえお越しくださいますようお願い致します。

主催・連絡先：北九州市立精神保健福祉センター 担当 市丸・甲斐・仲丸
〒802-8560 北九州市小倉北区馬借1丁目7-1
北九州市総合保健福祉センター（アシスト21）5階
TEL 093-522-8729 FAX 093-522-8776